

国内図書館に導入されている AI を利用したサービス・システムの例

1. 蔵書探索

(1) AI 探索サービス

従来のキーワード一致型検索と異なり、学習研究のテーマやシラバス（講義内容）、探索したい内容等をキーワードのみならず文章等で入力すると、AI が入力内容を解釈し、関連性の高い順に図書を提示。

[導入機関] 青山学院大学図書館、横浜市立図書館 等

(2) 資料案内チャットボット

所蔵資料を AI が紹介するチャットボット。興味や関心のあることを質問すると、AI（人工知能）が所蔵資料の中から入力内容に類似する本を探索し、本棚形式で表示。

[導入機関] 東京都立中央図書館 等

2. 利用支援・レファレンスサービス

(1) 図書館サイト上のチャットボットサービス

利用案内等の簡単な問い合わせ等について、図書館のウェブサイト上に登載したチャット欄に入力するとチャットボットによる回答を表示するもののほか、大学のアプリ等と連携して、学内で提供されている図書館ボット上で質問を入力すると、生成 AI による回答が表示されるサービス等の事例がある。

[導入機関] 徳島大学附属図書館、鹿児島大学附属図書館 等

(2) AI 登載の書架案内ロボット

図書館システムとの連携により、館内 PC で読みたい本を検索し表示された画面上にある案内のボタンをタッチすると、ロボットが目的の本がある棚まで自律走行して案内するサービスを提供。

[導入機関] 奈良市立中央図書館 等

(3) AI アバターによるサービス

館内に設置されたアバターによる利用支援が可能。AI 技術を活用した 24 時間対応や、職員操作なしでのアバター自身による資料検索のナビゲーションを将来的に構想。

[導入機関] 近畿大学中央図書館 等

3. 蔵書管理

(1) AI 蔵書管理サポートサービス

タブレットで写真を撮影し、背表紙等の情報から AI が解析し蔵書を認識し特定のうえりストデータを作成し、蔵書の点検・管理が可能。

[導入機関] 鹿児島市立天文館図書館、愛知県田原市赤羽根図書館 等

4. その他

(1) AIによる機関リポジトリ掲載論文の要約

機関リポジトリに登録されている論文等について、AIによる概要を表示。対象者別のレベル選択が可能。

[導入機関] 新潟大学

(2) 文献データベースにおけるAIによる付帯機能

学術文献のデータベースにおいてオプションとして掲載され、ユーザーの質問に対して掲載データから回答生成や要約作成、影響力のある論文リストの作成や比較が可能。

[導入機関] 千葉大学附属図書館、九州工業大学附属図書館